

テーマ展示のご案内 その二

本紙8月1日号に引き続き市役所南庁舎2階ロビーのテーマ展示について説明します。

テーマ③ 『花を愛でた古の人』では、花や木の描かれた資料を展示しています。蓮の花は、古くから軒丸瓦の図像として用いられ、市内でも鳳凰寺廃寺（鳳凰寺）や三田廃寺（三田）などの古代寺院跡から出土しています。また、江戸時代の藤堂藩治世下では、武家が好んだ品々により多くの花が表現されます。縁起が良いとされる「鶴・亀」とともに「松・竹・菊」が描かれた鏡や「椿・桜・牡丹・水仙・雛菊・アザミ」などが表現された櫛をご覧いただけます。



▲「松・竹・菊」が表現された白銅製の鏡
西蓮寺（長田）藤堂采女高桐前室墓出土



▲船の舳先（へさき）のようなへら描きの記号が見られる広口壺

テーマ④ 『伊賀市内の発掘調査成果展』では、平成18年度に調査を実施した長良遺跡（印代）から出土した考古資料を展示しています。弥生時代末から古墳時代初めごろの竪穴住居跡や方形周溝墓から出土した土器の中に、記号が表現されたものが3点あります。それらは、当時の人々にとって特別な土器であったと考えられます。市役所にお立ち寄りの際にはぜひ、ご覧ください。

教育委員会生涯学習課 ☎ 22・9681

公共交通機関をご利用ください

8月は公共交通機関利用促進月間「たまには☆ノンマイカーDay」にご協力いただきありがとうございました。公共交通機関は車を運転できない方や子ども、高齢者にとって欠かせない移動手段ですが、伊賀市では自家用車での移動が主となっていて、現在の運行を維持できない状況の路線もあります。また、昨今メタボリックシンドロームや健康診断の義務づけなど健康への関心が高まっています。公共交通機関での通勤は、自宅や職場から駅・停留所まで歩くことになるため、健康づくりやダイエットにも効果があると考えられるでしょう。

伊賀市では、公共交通利用促進月間終了後の9月以降も、毎月最終金曜日を公共交通機関利用促進日として、「たまには☆ノンマイカーDay」を引き続き実施します。

地球環境に優しく、健康増進につながる公共交通機関の利用にご協力ください。

公共交通機関は車を運転できない方や子ども、高齢者にとって欠かせない移動手段ですが、伊賀市では自家用車での移動が主となっていて、現在の運行を維持できない状況の路線もあります。

自家用車から公共交通機関へ乗り換えることは二酸化炭素を削減し、個人でできる環境への取り組みとしても効果が大きいものです。

さらに、ガソリン・軽油価格の高騰もあり、年々利用者が減少していた公共交通機関も、その価値



市の花
ササユリ



市の木
アカマツ



市の鳥
キジ